

平成28年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事録要旨

| | |
|--------|--------------------------|
| 日 時 | 平成28年6月8日(水) 14:00~15:30 |
| 場 所 | 釧路市観光国際交流センター 3階研修室 |
| 出席委員 | 28名(うち代理出席1名) 欠席2名 |
| 事務局 | 5名 |
| 業務受託者 | 2名 |
| オブザーバー | 2名 |

1. 開会

2. 新委員紹介

3. 議事

- (1) 平成28年度地域公共交通確保維持改善事業(地域公共交通調査事業)の交付決定及び業務委託契約について

- ・事務局より説明 資料1

(名塚会長)

- ・事務局から地域公共交通確保維持改善事業の交付決定、業務委託契約の締結について説明をいただきました。確認事項等ございますでしょうか。

～異議なし～

- (2) 地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査について

- ・業務受託者である「日本データサービス株式会社」より説明 資料2

(名塚会長)

- ・業務受託者から地域公共交通網形成計画策定に係る各種調査について報告をいただきました。確認事項等ございますでしょうか。

(平岡委員)

- ・学生ワークショップの実施時期は検討しなければならないと思います。学校によって異なりますが、具体的には8月10日過ぎから9月末まで夏期休暇という事になっ

ております。また、北海道教育大学ではちょうどこの時期に教育実習があり、ほとんどの学生は大学にいないという状況になります。無理やり集めるということになれば、何とか集められると思いますが、多様な学生を集めるという意味では、この時期では厳しいと思います。

- ・ 学生以外の声を聞くこともできないでしょうか。例えば、バス利用の高齢者や病院に通院している方などに集まっていただくのも良いと思います。あるいは、普段バスを使わない現役世代、こちらは市街地に事業所がある比較的大きな会社や公務員の方を対象に行うことも良いと思います。このような方々を対象になぜ公共交通を使わないのかや、どうしたら公共交通を使うようになるのかを聞いてほしいと思います。

(事務局)

- ・ ご指摘の部分は懸念するところではございましたので、時期は大学と調整させていただいて、適切な時期に行えればと思います。それから学生以外の声を聞くことについて、今回の委託の中でどこまでできるかというのは当然あると思いますが、3月にも申し上げた通り、高齢者の方のバスの使い方をどうするかという議論を我々の方で行っていかねばならないという認識をもっております。対象者については、中心市街地の事業者あるいは公的機関というところも、事務局で再度詰めていきたいと思っております。この後個別に専門部会を作って、その中で細かく、どうやって声を拾っていかうかというところも議論させていただきたいと思っております。

(佐藤委員)

- ・ 4ページ調査内容について、都市間バスから市内路線バスへの乗継状況の把握、あるいは再編後の利用意向について調査を実施することになっていますが、都市間バスももちろんですが、JRへの乗り継ぎや、空港連絡バスへの乗り継ぎはこの項目に入らないのでしょうか。

(日本データサービス)

- ・ JRへの乗り継ぎについては、バス乗降調査の調査票に盛り込んでおります。一方で、空港連絡バスについては、項目を設けておりませんでしたので、追加すること検討します。

(畑毛委員)

- ・ バスOD調査のビンゴ式アンケート票の内容について、利用者の料金の支払い方法を項目に加えていただきたいと思います。内容は現金、回数券、定期券の3項目が良いと思います。

(日本データサービス)

- ・ 料金の支払い方法に関しても、加えることで検討したいと思います。

(秋里委員)

- ・ 市内における公共交通の利用は、バス利用が主だと思いましたが、近距離のJR利用やタクシー利用も考えられますが、その利用手段の把握はどのように行うのでしょうか。

(日本データサービス)

- ・ 市民の一般的な生活行動として、買い物、通勤・通学、通院時の交通行動を聞くことにしております。その際に交通手段として、JRを使って移動しているのか、もしくはタクシーを使って移動しているかなど、どのような交通手段を使っているかについて聞く設問を用意しておりますので、そちらで把握したいと考えております。

(吉田委員)

- ・ 当商店会には、拠点地区の3地区が入っており、西部地区の会員数が120名と多くなっています。バスを利用している方もいますので、ひとえに買物と言っても、イオンでの買物と商店会での買物は別に考えるべきだと思います。商店主さんへのアンケート調査など、バスを利用している人がどの程度いるのか、調査を行う予定はありますか。

(日本データサービス)

- ・ バス乗降調査で、乗降バス停を把握することとしておりますので、ある程度どの商店会で買物をしているのかは把握できると思います。また、ニーズ把握調査では、買物場所を聞くこととしておりますので、商店会で買物している方の交通手段も把握できると考えております。

(吉田委員)

- ・ 地元のスーパーでいうとスーパーヒロセさん、スーパー相長さんに買い物に行ったらっしゃる方がたくさんいて、その方がタクシーで行っているのか、バスで行っているのかというのは非常に興味があるところです。バス需要の有無を調査いただければと思います。

(宮下委員)

- ・ 釧路市は冬期において、ツルツル路面が発生するため、自動車からバスへの転換が考えられます。そのような気候条件を考慮し、冬期の交通手段を把握する調査を実施

しないのでしょうか。また、学生ワークショップについて、議論の方向性は現在のバスの利用率を向上させる方策を検討するのか、もしくは新しく若い世代が中心市街地に興味を持ってもらうための方策を検討していくのか、どちらでしょうか。

(日本データサービス)

- ・ 冬期の交通手段について、ニーズ把握調査の通勤・通学、買い物、通院時の交通手段を夏期、冬期に分ける予定ですので、そこで把握することを考えております。また、学生ワークショップについて、どこに力点を置くかは、もう少し事務局側でブラッシュアップさせていただきたいと思います。

(古川委員)

- ・ 市内運行路線バスの阿寒本町線と阿寒線について、今回の調査項目に、阿寒本町線を利用されるお客様が、もし、バスが阿寒本町から道の駅周辺まで行くとしたら利用されますかというような項目を調査項目に入れていただけると、大変よろしいかと思えます。実は、冬期間に鶴の写真を撮るカメラマンが増加しますが、阿寒湖畔までのバス路線である阿寒線は非常に限られております。こういったお客様の利用動向も考慮しつつ、再編をしなければならないと思いますので、この路線バスの活用について調査項目を追加していただければと思います。

(日本データサービス)

- ・ 阿寒本町線の調査について、ヒアリング調査等で補完的に調査を行うかなど、調査手法について別途検討してきたいと考えております。

(伴委員)

- ・ 3, 200世帯を対象にアンケート調査を実施するとのことですが、その後の解析を速やかにするためにも、配布時点で年代別に配布することを検討してはいかがでしょうか。

(事務局)

- ・ 作業自体は可能ですので、バランスの取れた調査となるよう検討いたします。

(岡本委員)

- ・ 追加でご報告ですが、先ほど宮下先生が、学生ワークショップの時に公共交通なのかまちづくりなのかというテーマで、議論してはどうかという質問がございましたが、立地適正化計画関連の取組みで、教育大の学生だけを対象としておりますが、中心市街地の活性化、まちづくりに関してワークショップを行い、学生から意見を聞くこと

を予定しており、都市計画課の担当がどのような内容で行うのかを考えているところ
です。おそらく7月くらいに実施できると思います。学生ワークショップの中でも、
テーマとして、中心市街地の活性化方策のところは関係してくると思うので、同じこ
とを2回聞いてしまったりして無駄が出てくると思いますので、ぜひその辺は情報共
有をしていただき、ご検討いただければと思います。

(事務局)

- ・ ただいま確認のあった件について、今回行う学生ワークショップの議論内容と同じ
ような内容を聞くことがないよう、部内で情報共有をしていきます。

(3) 釧路市地域公共交通活性化協議会専門部会（案）について

- ・ 事務局より説明 資料3

(名塚会長)

- ・ 事務局から釧路市地域公共交通活性化協議会専門部会について説明をいただきまし
た。確認事項等ございますでしょうか。

(名塚会長)

- ・ 回数はどのくらい開催するのは、後ほど説明するのでしょうか。

(事務局)

- ・ 全体のスケジュールについては、後程ご説明いたします。1点修正させていただき
たいと思います。専門部会は、釧路市地域公共交通活性化協議会規約の第12条の規
定に基づき設置されると説明をしましたが、正しくは第8条に基づき設置される部会
でございました。訂正させていただきたいと思います。

(岸副会長)

- ・ 専門部会規程第4条に専門部会に会長を1名置くと記載されておりますが、これ
は協議会の会長なのか、専門部会の会長なのか混同してしまうと思います。

(事務局)

- ・ 第4条につきましては、専門部会の会長でございます。文言につきましても、会長
を部会長に修正させていただきます。

(名塚会長)

- ・ 専門部会をこのような形で設置したいと思いますが、よろしいでしょうか。

～異議なし～

(名塚会長)

- ・ 続いて年間のスケジュールを事務局から説明願います。

・ 事務局より説明 資料4

(名塚会長)

- ・ 事務局から年間スケジュールについて説明をいただきました。確認事項等ございますでしょうか。

～異議なし～

(名塚会長)

- ・ それでは、最後に岸副会長から、全体の総括をいただきたいと思います。よろしくをお願いします。

(岸副会長)

- ・ 色々な意見が出されて、私もなるほどと思って話を聞いておりました。本日は、このようなデータは手に入らないでしょうかといった質問が多かったと思います。調査を実施しようとした場合、技術的には可能かと思いますが、労力とお金がすごくかかり、その割に使い道としてどうなのかを精査しなくてはならないと思いました。タクシーの動きについても、タクシー協会から運行日誌データをもらい、データベース化し、どこからどこまでというのを追えると思いますが、果たしてそこまでの労力をかけて、どのようなデータとして活用できるのかという事を考えれば、事務局で回答したようなアンケートが妥当だと個人的には思います。
- ・ 実は5年ほど前になりますが、釧路都市圏でパーソントリップ調査という大規模な交通調査を行い、家庭訪問調査で、ある個人の1日でどこからどこまで、どのような交通手段で何を使ってきましたかという膨大なデータを多くの市民の皆様にご協力いただいてまとめ、それを基に釧路都市圏の交通計画が進められています。そのデータを使えば5年前とあまり大きな傾向は変わってなく、補足するところはパーソントリップ調査のデータを使っていけば、タクシーに関しても買い物目的の交通手段もすべて追えると私自身は思っています。これはデータをもらい分析をすれば、厚みをもった分析がさらにできると思います。

4. その他

(名塚会長)

- ・ くしろバスさん、阿寒バスさんより情報提供がございました。くしろバスさんからよろしくお願い致します。

(畑毛委員 (くしろバス))

- ・ 今日の北海道新聞で、赤字バス路線の補助金が減額されるという記事が第1面に掲載されておりました。いわゆる地域間幹線系統の国の補助金の路線であります。私どもは10路線、この調査事業の中に全て載っている路線であります。非常に厳しい内容でございます。私どもとして、国会議員の先生に阿寒バスさんと根室交通さんと連名で要望書を提出してまいりました。北海道バス協会を通じて北海道運輸局、北海道知事宛てに要望書を提出して、バス事業者が全道一体となって、国土交通省の方に満額の補助をお願いしたいということで、行動を起こす予定となっております。この辺は非常に厳しいということだけはお知らせをしておいたほうが良いかなと思います。
- ・ 付随するわけではございませんが、私どもは10月1日にダイヤ改正を予定しております。非常に経営が厳しいということもあり、地域間幹線系統の白糠線は、路線の運行回数を約半分にカットしました。同時に、要望も色々ありまして、バスから釧路の街を考える会の方から、音別線に釧路からの直行便を置きたいということもあり、音別駅まで直行便を運行する計画となっております。
- ・ 私どもの定期券はほとんどが面的な定期券となっており、平成12年度まではいわゆる区間定期券、いわゆる点と点の定期券でしたが、平成12年度以降はほぼ面的な定期券として運用しており、釧路市、釧路町のバス路線全てに、どれに乗ってもいいですよという定期券を発行しています。当時は全体的な売り上げの16%くらいしか定期券がありませんでしたが、今は当時の全体収入の半分くらいしか運行収入はありませんが、定期券の売り上げだけは非常に高く、率にして42~3%くらい、ずっとこの水準で推移しております。したがって定期券は、私どもの命綱のようなものでもありますことから、ぜひ今回の調査事業の中ではそういった部分も含め調整していただければと思います。
- ・ 平成21年度から1日のフリー乗車券を当時400円で発売しました。いわゆる港まつりなどの期間に販売し、非常に好評を得て、当時は1日165人ほどしか利用者がいなかったのですが、利用者が拡大して、日曜・祝日あるいは、イベントのある土曜日について販売を行ってきました。結果、1日300人以上の方が利用されております。この取り組みについては、阿寒バスさんと共同で行っている事業であります。これに関しては、今年度、土曜日でも使えるようにするというので、100円を上乗せして、600円で発売しております。このような企画は今後も展開していかなければ

ならないと思っていますので、今後もよろしくお願ひしたいと思ひます。

(名塚会長)

- ・ 阿寒バスさんお願ひします。

(須田委員 (阿寒バス))

- ・ 阿寒バスは券種別で言ひますと、定期券収入が11%で、現金収入が89%という形になっておひります。弊社からは事業内容、近況、現在抱えている問題について、お話しさせていただきます。
- ・ 事業内容につきましては一般乗合旅客自動車運送事業、貸し切り旅客自動車運送事業、自動車整備事業この3部門で構成されておひります。運行系統数は61系統で、平成28年5月現在の従業員数は197名です。近年の輸送実績ですが、年間利用者数は平成26年度が84万人、27年度が81万人ということで、前年度から3.6%の減少となっております。一方乗合の総収入でございますが、26年度が5億2000万円、27年度が5億3500万と、利用者数は減っていますが運送収入は2.8%増加しておひります。乗合の総収入における収入構成ですが、ローカル線が一番多く63%、釧路市内線については5%となっております。観光線が4%、ピリカ号1系統を本年度も運行しておひります。本年の実績ですが、昨年と比べて29%増、6月現在で32%ほど多くなっておひります。3コースありますが、釧路での宿泊が必要な当該商品において、釧路での連泊が想定され、釧路地区の経済効果にも寄与しているのではと思ひます。また、都市間バスについては、乗合収入構成の28%を占めており、中でもくしろバス様、中央バス様と3社共同運行しておひりますスターライト釧路号、こちらは平成27年11月以降週末に運行していた中間便を毎日運行に改正、本年3月の阿寒インター開通後は3社全体で収入割合が11.4%ほどアップしておひり、今後の交流人口の増加に期待しているところでございます。
- ・ 一方、現在抱えている問題として、乗務員確保が挙げられます。乗務員確保の手段として、免許取得・支援制度を創設しておひります。これは、金銭の貸借契約による貸し付けを行い、5年間の返済を猶予とし、5年の継続勤務を経て会社が債務放棄をし、返済を免除するという制度です。ちなみに現在の免許取得費用は、普通免許のみ所持者で45万円、大型一種免許所持者でも26万円がかかっておひります。
- ・ また、車両の老朽化に伴い、車両確保も深刻な問題となっております。弊社所有の乗合バスは71台ございますが、8割が15年経過している車両であり、設備投資が遅れている現状です。しかしながら、国、市町村のご協力により、徐々にではありませんが今後改善に向けた計画を立てていきたいと思ひます。

(名塚会長)

- ・ 全体として皆様から何かあればお受けしたいと思います。

(佐藤委員)

- ・ 市民への周知について考えていることはありますか。

(事務局)

- ・ 釧路市のホームページに協議会の議事録などを掲載しています。釧路市のホームページを開いていただいて、公共交通とキーワードを入れていただきたいと思います。今後、市政懇談会、あるいは調査事業の中で、市民の皆様にごできるだけ情報提供してまいりたいと思っておりますし、市の発行する広報誌などで情報提供できればと思います。資料を全部掲載するわけにはなかなかいきませんので、会議の状況などを紙面の都合がつけば掲載できればと思います。まず一つは、資料は全てホームページに掲載していくという事でご理解いただければと思います。

(佐藤委員)

- ・ 子供やお母さん方には児童館など、さまざまな市の施設があると思いますが、今、自分たちにとって身近なことが議論されていますよというような、宣伝、喚起の在り方は考えていないのでしょうか。

(事務局)

- ・ 市民の皆様が集まる公共施設などに、どの程度会議資料を設置していくかを検討してまいりたいと思います。議事録を載せるまでにはいかないと思いますが、資料を提供したり、記事に掲載したりできるかを検討してまいりたいと思います。

(櫻庭委員)

- ・ 北海道新聞の第1面に赤字バス補助減額という形で記事が掲載されており、くしろバスさんからご説明があった通りでございます。経緯をお話ししますと、既に今年度は地域間幹線系統の補助内定はすでになされておりまして、その後4月に北海道運輸局からすべての自治体さん、関係事業者さんに通知をさせていただきました。記事にございましたように、道内赤字バス路線の補助金が減額になる可能性があるということです。その後5月の中旬に、地域間幹線系統の幹事会が釧路総合振興局さん、根室振興局さん2つの協議会において開催された際に、制度のご説明とともに実態についてご連絡させていただきました。確保維持改善事業の中で、地域間幹線系統はまさしく、市内線よりも長い路線です。私どもも最も重要な基本的生活路線ということで考えております。今のところ、全国的な話になっており、国土交通省で仮に減額になる

場合の基準、規模などについて検討しております。これにつきましては、改めて連絡が入り次第、自治体さん、事業者さんに情報を報告していきたいと思っております。

(事務局)

- ・ 次回の協議会開催は10月くらいを予定しております。

4. 閉会

(名塚会長)

- ・ 以上をもちまして、平成28年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。長時間に渡りありがとうございました。